

# LAMP® 上吊式引戸 FD50-H 上ローラー木口掘込 デュアルソフトクローザー仕様

施工説明書  
品番：FD50DHCP

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

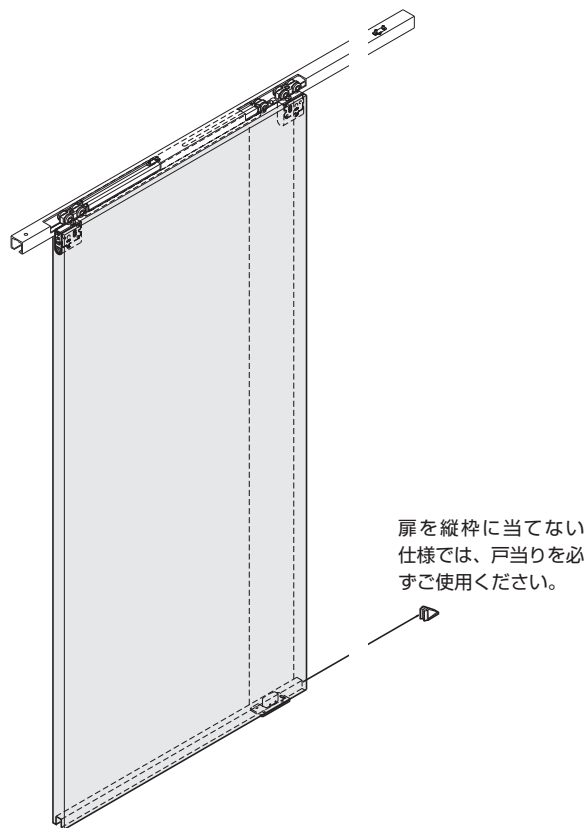
## 本製品について

- 屋内用の上吊式引戸金物です。
- 扉を開閉する双方向にクローザーが働き、戸先と戸尻それぞれの方向に2段階でゆっくりと静かに引き込みます。
- 工具を使わずに扉を吊り込むことができます。

## 仕様

扉高さ	2400 mm 以下	2401 ~ 2700 mm
扉幅	680 ~ 1500 mm	800 ~ 1500 mm
扉厚	24 mm 以上	
扉質量(1枚当り)	50 kg 以下	
扉上下調整範囲	上方向に 3 mm、下方向に 4 mm	
扉前後調整範囲	± 2 mm	

- ・使用場所の室温、操作方法および取付け状態などにより、ソフトクローザー機構による扉の閉じる速さは変わります。
- ・使用推奨温度範囲は 5℃ ~ 40℃ です。



## 正しく安全に施工していただくために

### 図記号の意味

警告 注意	禁止	厳守
----------	----	----


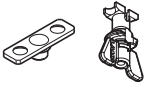
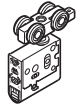
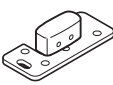
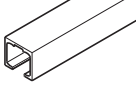
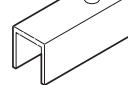
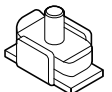



**警告** 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。


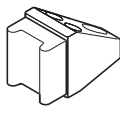
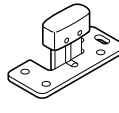

- ❗ 本製品の施工は、知識、経験のある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをされるおそれがあります。
- ❗ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、上レールや扉などが脱落してけがをされるおそれがあります。
- ⊘ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⊘ 本書で説明する部分以外の分解、および改造は行わないでください。

**注意** 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- ❗ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ❗ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ❗ 本製品は建具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認いただくとともに、使用者へ建具を安全に使用するための注意喚起も行ってください。
- ❗ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください。(お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください。)

# 部品一覧

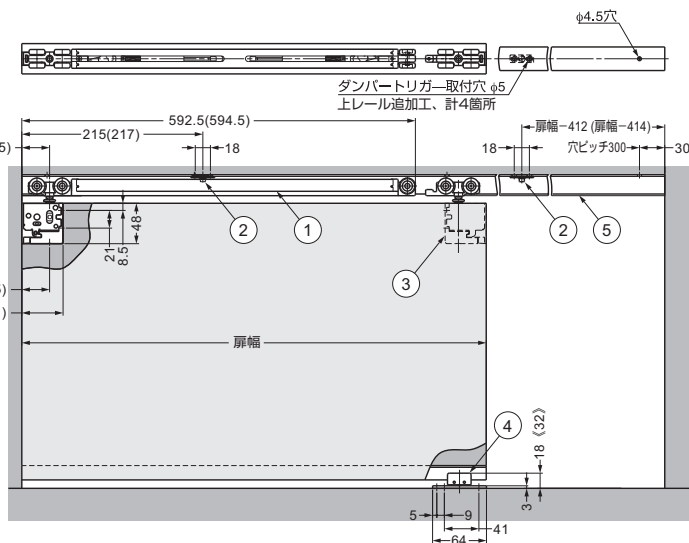
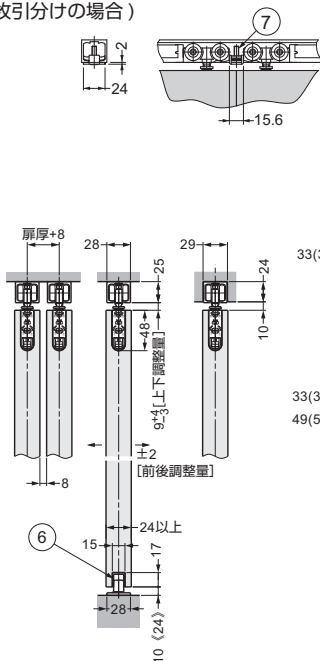
No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
品名	デュアルソフトクローザー	トリガー、取付治具	上ローラー(掘込用)	下ガイドS	上レール	扉下側埋込みガイドレール	ストッパーブロック
品番	FD50-WRH-DSC	FD50-TRJ, FD50-TRG	FD50-WRH	FD50-BG18	FD50-TRM 型	FD30-HBRT1500SIL	FD50-HSB
部品	 付属: 十字穴付平頭タッピンねじ 3.8×40 …………… 3ヶ	 トリガー 2ヶ 治具 1ヶ 付属: 十字穴付小径皿タッピンねじ 4×30、皿頭径φ6… 4ヶ	 付属: 十字穴付平頭タッピンねじ 3.8×40 …………… 3ヶ	 付属: 十字穴付バインドタッピン ねじ4×16…………… 5ヶ	 穴ピッチ: 300 mm ピッチエンド: 30 mm 付属: 十字穴付平頭タッピン ねじ 3.8×40	 穴ピッチ: 250 mm ピッチエンド: 30 mm 推奨ねじ: 十字穴付皿タッピンねじ 4×20	
片引き戸	 1ヶ	1セット	1ヶ	1ヶ	1本	1本	—
引違い戸	 2ヶ	2セット	2ヶ	2ヶ	2本	2本	—
引分け戸	 2ヶ	2セット	2ヶ	2ヶ	1本	2本	1ヶ

オプション	No.	⑧	⑨	⑩	⑪
	品名	上ローラー用化粧キャップ	戸当り(床付用)	下ガイドL	スパナ
	品番	FD50-WRH-CP	FD30-HTKY	FD50-BG32	FD30-FSP
部品	 厚さ: 2 mm	 付属: 十字穴付バインド タッピンねじ 4×30 …………… 3ヶ	 付属: 十字穴付バインドタッピン ねじ 4×16 …………… 5ヶ		

## 寸法図

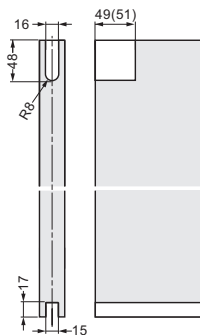
(本書では片引き戸を例に説明しています。)

### ストッパーブロック使用時 (2枚引分けの場合)



### 扉の加工

上ローラー、下ガイド用の溝加工寸法です。



( ) 寸法はオプションの上ローラー化粧キャップ⑧を使う場合の寸法です。

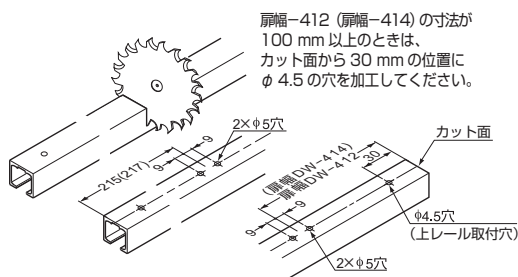
< > 寸法はオプションの下ガイドL⑩を使う場合の寸法です。

## 1 取付前の準備、取付け

### 1. 上レールの切断・穴加工

切断、穴加工は下図を参照。

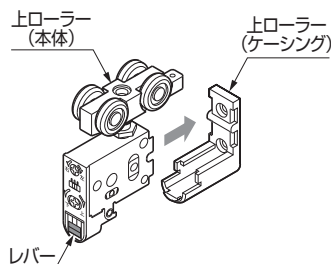
△ レールは切断部が変形しないように、補強材などを入れて切断してください。



( ) 寸法はオプションの上ローラー用化粧キャップ⑧を使う場合の寸法です。

### 2. 部品の組込み準備

デュアルソフトクローザーと上ローラーのレバーを上げ、本体とケーシングに分ける。

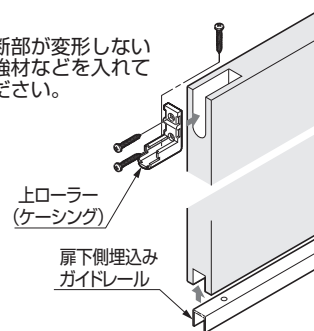


### 3. ケーシングおよび扉下側埋込みガイドレールの取付け

上ローラーのケーシングを扉の加工部にしっかりと差し込んだ状態にして、付属ねじで固定する。

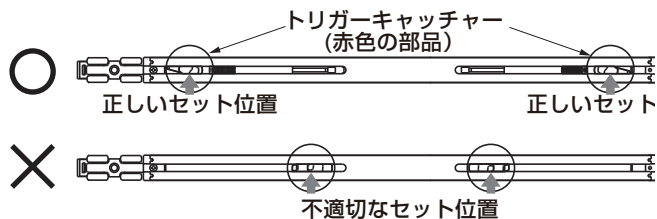
扉下側埋込みガイドレールを扉幅と同じ長さで切断し、皿タッピンねじ4×20 (お客様手配) で取り付ける。

△ レールは切断部が変形しないように、補強材などを入れて切断してください。

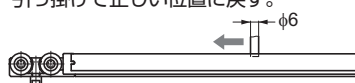


### 4. デュアルソフトクローザーを取り付ける前の確認

△ 確認しないで取り付けた場合扉が引き込まれない故障の原因になります



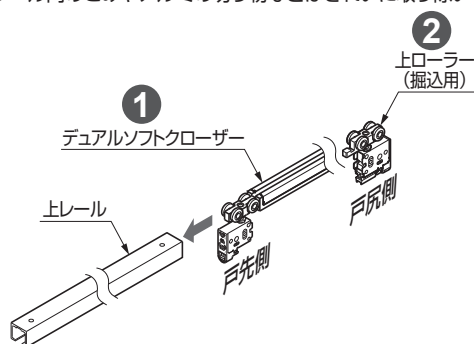
位置が正しくない場合、φ6 の硬い丸棒でトリガーキャッチャーを引っ掛けて正しい位置に戻す。



### 5. 上レールへの部品の組込み、上レールの取付け

各部の向きに注意し、①、②の順に組み込む。

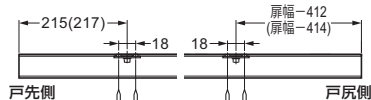
△ 戸先側と戸尻側に注意して、上レールを上枠に取り付けてください。上レール内のごみやアルミの切り粉などはきれいに取り除いてください。



### 6. トリガーの取付け

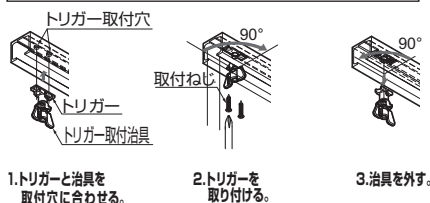
寸法図にしたがい、戸先側 215(217) mm の位置、戸尻側 扉幅-412(扉幅-414) mm の位置にトリガーを付属ねじで取り付ける。

△ 取付ねじは垂直に取り付けてください。皿頭がトリガーから出っ張ると動作不良が起こることがあります。



( ) 寸法はオプションの上ローラー用化粧キャップ⑧を使う場合の寸法です。

### トリガー取付治具の使い方



1. トリガーと治具を取付穴に合わせる。

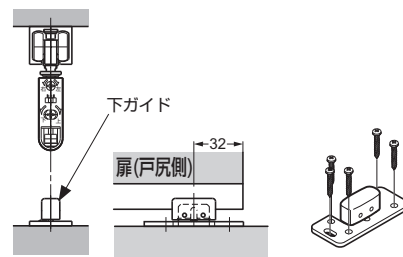
2. トリガーを取り付ける。

3. 治具を外す。



### 7. 下ガイドの取付け

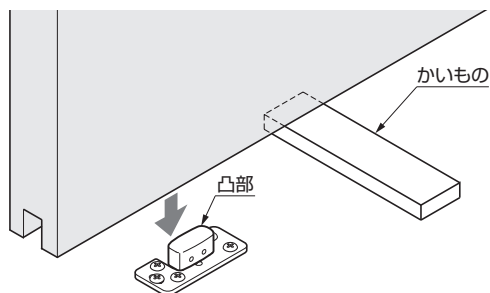
上レール中心の真下に、下ガイドの中心を合わせる。扉を閉じた状態で、下ガイドの凸部が扉から外れない位置となるよう調整し、付属ねじで取り付ける。



## 2 扉の吊込み、調整

### 1. 扉の吊込み (扉下部)

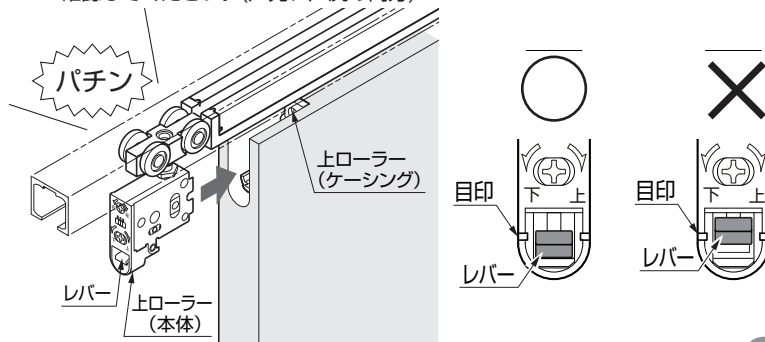
扉の下に10 mm のかいものを置き、下ガイドの凸部に扉下の溝を重ねる。



### 2. 扉の吊込み (扉上部)

上ローラー (本体) をクリック音がするまで押し込む。

△ 上ローラー (本体) がケーシングから外れないか確認してください。(戸先、戸尻の両方)



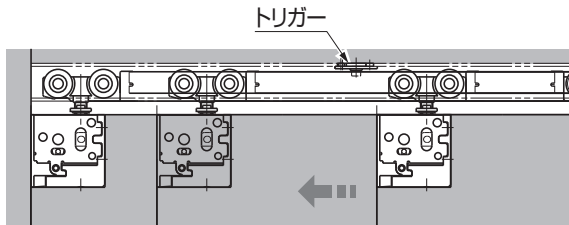
### 3.クローザーの動作確認

扉の下から10 mmのかいものを外す。

扉を戸先側にゆっくり動かし、クローザーが戸先縦枠の約115 mm手前から作動し、最後まで閉じるか確認する。戸尻側も同様に確認する。

クローザーが正しく機能していない場合は、次項目の「■困った時の対応」を参照。

- 扉を乱暴に閉めないでください。ソフトクローズ機構の故障の原因になります。



### 4.扉の位置調整

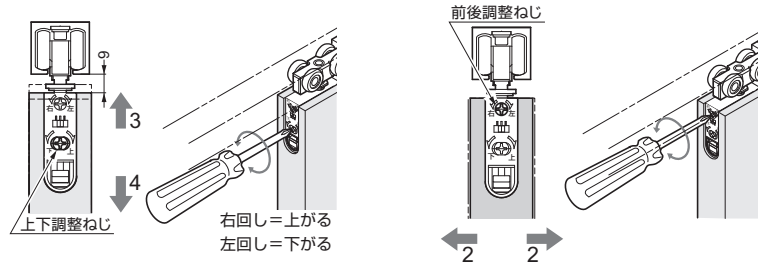
扉が上レールと平行で床面とのすき間が10 mmになるように調整する。

- 調整ねじを、調整範囲以上に回さないでください。破損の原因になります。
- 調整ねじを、電動ドライバーで回さないでください。破損の原因になります。

扉の上下調整範囲：7 mm

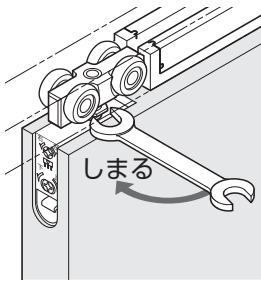
扉の前後調整範囲：4 mm

現品には作業者目線(右左)の刻印があります。

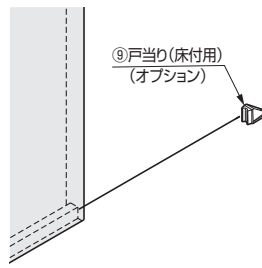


### 5.跳ね上がり防止ナットの固定

ローラー吊り軸(両側)の跳ね上がり防止ナットをスパナ 12で締め付ける。



扉を縦枠に当てない場合、オプションの戸当り(床付用)を必ず取り付けます。

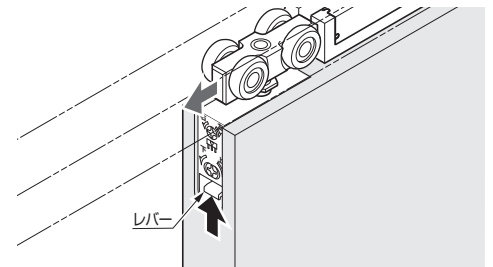


### 扉を外す場合

扉の下に10 mmのかいものをはさむ。

上ローラー(本体)のレバーを上を持ち上げたまま、上ローラー(本体)をケーシングから引き抜く。

△扉を倒さないように注意してください。



**取付後の確認** ねじの締め忘れ、取付け忘れのないことを確認してください。

### 定期点検

- ・レール内の掃除をおこなってください。
- ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整をおこなってください。

## ■困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
ソフトクローズの途中で止まってしまう	床面に扉下面が擦っていませんか。	レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が10 mmになるようにしてください。
ソフトクローズしない	トリガーが付いていますか。	トリガーを指定の位置に取り付けてください。
	扉を勢よく閉じていませんか。	扉を勢よく閉じた場合、機能が十分に発揮されず、故障の原因になりますので、おやめください。
扉の開閉時に異音が発生する	扉が隣接する箇所と擦っていませんか。	扉が隣接するものと擦らないように扉の前後調整をしてください。
	レール内やローラーにごみやアルミの切粉が付着または、刺さっていませんか。	一旦レールを外し、ローラーを引き抜いてごみや切粉を取除いてください。
	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
扉の開閉が重い	扉が隣接する箇所と擦っていませんか。	扉が隣接するものと擦らないように扉の前後調整、または下ガイド、ストッパーの位置調整をしてください。
	扉に反りが発生していませんか。	反りのない扉をご使用ください。
扉が開閉しない	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
勝手に扉が開閉してしまう	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して水平になるように、上レールを付け直してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせください。

電話番号 **03 (3864) 1122**

受付時間 月～金 9:00～17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875

E-mail: support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

**SUGATSUNE** スガツネ工業  
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384) ・ ISO 14001 (JSAE597) 審査登録  
※ISO9001: 物流 WEST を除く、国内拠点 ※ISO 14001: 千葉工場および物流センター (SBC)  
http://www.sugatsune.co.jp/ 2018.10 0538-9